

# 米中技術覇権競争時代の 安全保障貿易管理

北海道大学公共政策大学院  
鈴木一人

# 技術覇権競争

## ■ 技術覇権とは

- 将来的に主流となる製品やサービスの核となる技術を独占的に保持し、他国を凌駕することで経済的・軍事的優位性を維持し、その優位性を活用して他国に影響力を行使すること

## ■ 技術を持つことだけでは覇権にならない

- 日本の自動車技術(すりあわせの技術)

## ■ 最終製品だけでは覇権にならない

- グローバル・サプライチェーンへの依存
- 製品の支配力は技術による便益だけでなくコストも重要

# 米中の技術覇権の戦場

## ■ 通信機器

- 5G技術によるネットワークの構築→情報流通を支配

## ■ 暗号技術

- 量子暗号→通信技術覇権に対抗する技術

## ■ 無人技術

- ドローンや自動運転車→移動を支配

## ■ 宇宙技術

- 宇宙インフラの構築によるグローバルな情報収集と移動支援
- 宇宙インフラの脆弱性→Counter-space能力

# 技術覇権も単純ではない

## ■ 技術覇権の確立

- 特定の技術に関し、他国が保持することが出来ない(ないし非常にコスト高となる)状況が生まれる
- 技術覇権国家に依存すべきか、対抗すべきか
- Autonomy vs. Efficiency問題→リスク認識の違い
  - 英国はファーウェイによる5GはManageable riskと見ている

## ■ 技術覇権を支える技術

- 中国も半導体などは米国に依存している
  - ZTEを巡る問題→中国が抱える脆弱性
- 汎用性の高い部品技術、要素技術に関するリスク認識

# 技術覇権時代の貿易管理

- 軍事利用でなくとも覇権を握られるリスク
  - 軍民両用・不拡散という概念だけで括れない
- 存在しない技術の管理
  - 研究開発の段階から軍事的アプリケーション、覇権リスクの見極めが必要
  - 研究開発機関における安全保障リスクの認識の必要性
- 人の移動に伴う技術の管理
  - 職業選択の自由との競争→魅力的な国家で居続けられるか
- 「仕組み技術」を巡る問題
  - プラットフォーム技術・ビッグデータ・OS
  - 個人の権利と利便性、国家の関与のあり方→ルール作り